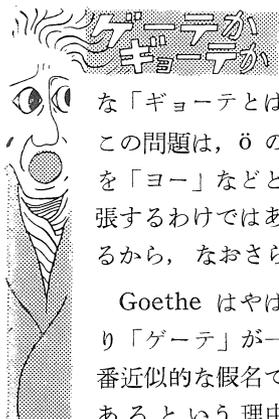


4.



ちかごろは聞かないが、昔、Goethe を「ギョーテ」と假名に移したことがあつた。そこで例の有名な「ギョーテとはおれのことかとゲーテ云い」が出来たわけであるが、この問題は、ö の發音という點から云うと、色々な事を考えさせる。ö を「ヨー」などと云うことは、勿論ギョーテ論者自身と雖も眞面目に主張するわけではあるまい。おまけに露西亞語の「ヨー」(ë) を聯想させるから、なおさら變な氣持がする。「ギョーテ」は勿論非常におかしい。

Goethe はやはり「ゲーテ」が一番近似的な假名であるという理由

は、此の oe (即ち ö) が「長綴」の ö であるという事を考えれば一番はつきりする。即ち ö の發音は、Goethe, böse, nötig, König 等の長綴の場合と、Götz, können, Mönch, Wörter 等の短綴の場合とでは、大いにちがうのである。

短かい ö の發音 [音標 œ] なら、これはチョット英語の [ə] (turn, bird, girl などの) によく似た發音だから、あるいは「ヨ」とか「オェ」とか「エオ」とか、その他奇妙奇天烈な表現がしたくならないとも限らないが、長い ö の發音 [音標 ø:] は、ドイツ語に慣れない人が聞けば、ほとんど「エー」に近くきこえるはずである。

Goethe の誕生二百年祭に際して 3

近世歐洲最大の詩人 Goethe は、今を去る丁度二百年の昔 (1749)、八月二十八日、現在獨逸駐屯米軍軍政司令部の駐在するマイン河畔フランクフルト市に生れた。

そもゲーテとは何者であるか? 何が故に斯くも大騒ぎをされるか? 何をゲーテに學ぶことができるか?

ジャーナリスチックな立場から云うならば、ゲーテは要するに最近數百年間における『最も大規模なインテリ』だつたのである。

かれは詩人でもあつた。科學者でもあつた。思想家でもあつた。政治家でもあつた。——けれども、何よりも先ずインテリだつたのである。

全世界の知識界を風靡し來たつた理由は此處にある。

ジャーナリズムは以上で終、次は非ジャーナリズムの見地からの話。すなわちインテリ同志の間での話:

何をわれわれインテリはゲーテに學ぶか?——『自個發揮』と『勉強』との白熱的調和である。『自主的活動』と『依他的受入れ』との玄妙なる使い分けである。『行動』と『知識』との掛け合せによつて生ずる生の増幅、生のうなりである。男一匹の限りある遠心力を a とし、限りある求心力を b として、その $a \times b$ たる五十年の人生 (Goethe の場合は八十三年) をば、比まれなる大面積に擴げてのけた此の偉觀である!

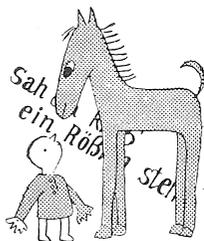
これを我々はゲーテに學ばなくてはならない。たとえば、ドイツ語のみならず、ありとあらゆる語に通じ、ありとあらゆる學問に通じ、ありとあらゆる術に通じ、ありとあらゆる事を知り……そしてしかも (これからが肝腎!) そしてしかも、要すれば筆あるいは身を以て戯曲の筋の一つや二つ書きおろし得なければならぬのである。

だから、短綴の Götz や Goebels や Röntgen なら、(若しどうしても「エ」で満足できないというなら)あるいは「ギョッツ」とでも「ゴェッベルス」とでも「レントゲン」とでも、その他ありとあらゆる素人いじめな振假名を振るのも、或いはまあ多少の理由があるとも云えないことはなからう。しかし、せつかく最もエーに近く出来ている長綴 ö の Goethe をば、わざわざ「ヨ」とか「オェ」とか「エォ」とか何とか捻くり廻わさなくてはならない理由は三千世界の何處の隅にもないのである。

如何となれば、最もエーに近い長い ö をしも「ギョーテ」とか「ゴエテ」とか「ガォテ」とか「ゴワテ」とか「グヤテ」とか「ゲユテ」とか書くとした日には、エーから遠い短綴の ö はいつたいどう書いたら氣持がすむというのだろうか? たとえば Röntgen は

□ エォヨウウヲイワヤ ヌント ゲン とでもやりますかな?—もつとも、Röntgen の gen は、(-chen の別形)ほとんど chen または jen と發音するから、レントゲンはきこえない、むしろ「レンチェン」といつたような發音ではあるが。

發音の詳しい事を知らぬ人に一番多い誤は、ö というのはとにかくいやに厄介な發音だと思い込む結果、口を妙な具合にして、オともエともつかぬあいまいな所でお茶を濁し、その結果、長綴の ö まで短綴の場合の如きあいまいな音にするという誤である。たとえば、例の有名な「野ばらの歌」の Sah ein Knab' ein Röslein stehn というのを發音させると、Röslein (=Rose に chen がついたのだから Rö は長綴のはず) を、ちょうど Rößlein (Roß, 馬) のように發音する。



Röslein は、發音に自信のない人はむしろ「レスライン」と、はつきりエーに發音してしまつた方がまだしも薔薇のごとく聞こえる。なまじつか下手な ö を發音すると、此の繪のようになってしまいますぞ。

5. 發音に關する微細な問答

わたし: ひとつ發音のお稽古をしてみようじやありませんか。その前に、まず、なにか稽古臺にする文例を拵えるために、作文と行きましょう。では『わたしの時計は日に一秒ほどしか狂わない』とドイツ語で言つて見て下さい。

讀者: それは一つ先生が言つて見てください。